

# 環境経営レポート

令和6年度

対象期間:令和6年2月～令和7年1月



西日本資源再開発 株式会社

令和7年3月30日発行

## 1. 環境経営方針

# 環境経営方針

西日本資源再開発 株式会社は、脱炭素社会実現のために事業活動において、3 Rを通じた資源循環を目指します。また自然と共に共生してゆくために、環境負荷の軽減に取り組み、持続可能な社会の実現に邁進します。

そして社長以下社員一同共に、地球市民であることを念頭に、会社のみならず地域または家庭においても、エコロジーに取り組みます。

## 環境行動指針

1. 事業活動に伴う環境への負荷を常に認識し、以下の活動を具体的に推進し積極的に取り組みます。
  - ① 電力及び燃料の消費を抑え、二酸化炭素排出量を削減します。
  - ② 収集運搬車両において、作業及びルートの効率化を図り、軽油量及び二酸化炭素量の削減に努めます。
  - ③ 節水を心がけ、水の使用量の削減をします。
  - ④ 産業廃棄物排出事業者へ情報提供し、廃材の分別によるリサイクル量の拡大に努めます。
2. 環境関連法令または自治体等の条例・地域の協定等を遵守します。
3. 定期的に環境経営システムを見直し、維持改善に努めます。
4. この環境方針を全社員に周知し、社外に公開します。

令和 4 年 2 月 1 日

西日本資源再開発 株式会社

代表取締役 今村 秀憲

## 2. 会社概要

### ① 事業所名及び代表者

西日本資源再開発株式会社

代表取締役 今村 秀憲

### ② 所在地

本社 〒920-0211  
石川県金沢市湊1丁目55番地18

処理施設

リサイクルセンター 〒926-0011  
石川県七尾市佐味町イ部42番16.17  
最終処分場 〒926-0001  
石川県七尾市鶴浦町39部1番外56筆

### ③ 環境管理責任者等連絡先

環境管理責任者 北野 哲夫

環境管理担当者 堀下 律子

連絡先 T E L 0767-52-7755

F A X 0767-52-4158

U R L nishinohon@watch.ocn.ne.jp

### ④ 設立年月日

平成 20年12月17日

### ⑤ 資本金

10百万円

### ⑥ 売上高

174百万円 [令和6年度実績]

### ⑦ 従業員数

5人 [令和7年2月1日現在]

### ⑧ 事業内容

産業廃棄物処理（収集運搬、中間処理、最終処分）

一般廃棄物中間処理

⑨ 許可の内容

1. 産業廃棄物

許可者	優良	事業の区分	積替保管 有・無	許可年月日	許可番号	① 燃え殻	② 汚泥	③ 廃プラスチック	④ 紙くず	⑤ 木くず	⑥ 繊維くず	⑦ ゴムくず	⑧ 金属くず	⑨ ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	⑩ がれき類	⑪ ばいじん
				有効年月日												
石川県	○	中間処理		令和4年3月25日	第01748000533号					○				○	○	
				令和11年3月24日												
石川県	○	最終処分		令和4年3月25日	第01748000533号			○				○	○	○	○	
				令和11年3月24日												
石川県	○	収集運搬	有	令和3年8月30日	第01718000533号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				令和9年12月16日												

2. 一般廃棄物

許可者	事業の内容	許可年月日	許可番号	取扱廃棄物の種類
		有効年月日		
七尾市	中間処理(破砕)	令和7年4月1日	1250703	木くず、がれき類、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、石膏ボード
		令和9年3月31日		

⑩ 認証登録の対象範囲

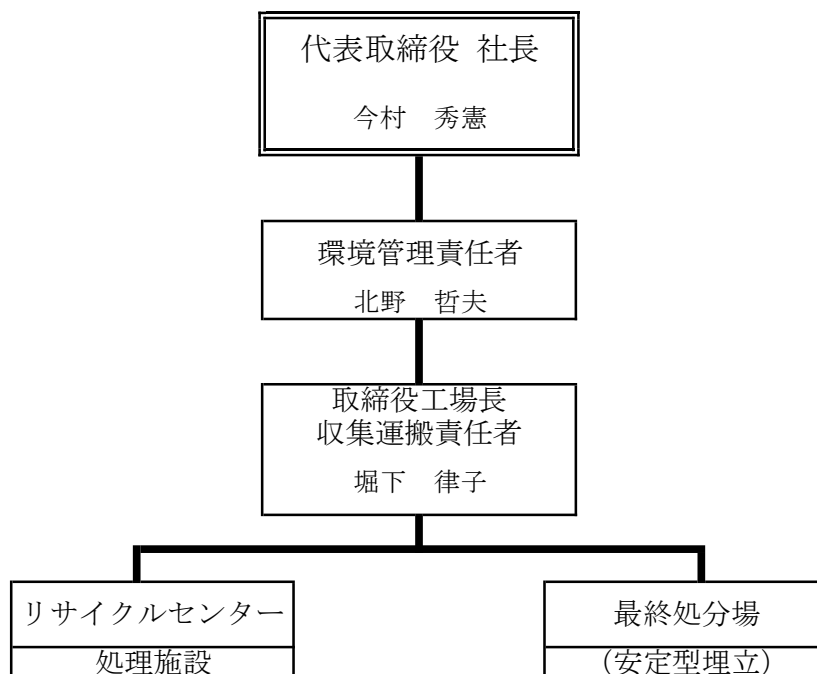
全組織                      本社、リサイクルセンター、最終処分場

全活動                      産業廃棄物処理（中間処理、最終処分、収集運搬）

                                 一般廃棄物中間処理

### 3. エコアクション21推進体制図

推進体制図



計 5名

#### 〔責任者の役割〕

	役割・責任・権限
代表取締役 社長	①環境経営方針の策定、見直し ②環境管理責任者の任命 ③環境経営資金の提供 ④エコアクション21の評価と見直し
環境管理責任者	①エコアクション21の活動推進責任者 ②環境経営目標の作成と進捗管理 ③環境関連法規の順守評価 ④環境経営目標、計画の実施 ⑤環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の周知
工場長 収集運搬責任者	①環境経営目標の進捗状況の確認 ②問題点の是正と予防
環境管理担当者	①環境負荷等を管理集計し報告 ②環境経営レポートの作成

令和7年2月1日現在

## 4. 処理施設等の概要

### ① 処理施設の概要

処理施設の種類	破碎施設
設置年月日	平成26年度
設置場所	七尾市佐味町イ部42番3、14、16、17
廃棄物の種類	がれき類（アスファルト・コンクリート破片、コンクリート破片に限る。） 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」（アスファルト・コンクリート破片、コンクリート破片に限る。）
処理能力	880t/日（8時間稼動）
処理方式	ジョークラッシャ破碎方式
構造・設備の概要	一次クラッシャ シングルトッグルジョークラッシャ 1基 95kw 二次クラッシャ シングルトッグルジョークラッシャ 2基 55kw
環境保全設備の概要	イ 廃棄物の飛散、粉塵の発生対策として、噴霧散水施設 ロ 処理施設からの排水はないが、場内の雨水について排水溝を通し油水分離槽に処理後排水する。 ハ 場内境界線に沿い、トタン張防護柵、ブロック塀による飛散、流出防止対策。 ニ 場内の出入口には（再生材搬出）、ダンプ砂落とし場、タイヤを水洗い（付着した砂を落とす）してから、前面市道に乗り入れる。 ホ 環境保全施設の正常な機能を維持するため、定期的な点検、機能検査を実施、適正な維持管理に努める。

処理施設の種類及び名称	安定型最終処分場
設置年月日	平成5年12月1日
設置場所	七尾市鶴浦町39部1番外56筆
最終処分場の規模	埋立面積 19,306㎡ 埋立容積 87,891㎥
埋立対象廃棄物の種類	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、がれき類 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」（石綿含有産業廃棄物を含む）
構造・設備の概要	処理方式－サンドイッチ方式 概 要－堰堤 H=5.0m 1基 テンサー工法 調整池 V=2791㎥ 掘込み式 1)調整池容量 1985㎥ 2)沈砂池容量 536㎥
法流水の水質等	該当なし
その他環境保全対策	最終処分場の下流・上流側2ヶ所に設けた井戸より水質検査を実施し、水質検査の結果、水質の悪化が認められた場合、その原因の調査等生還環境の保全上必要な措置を講じ、水質の保全に努める。

残余容量 13, 823 ㎥

処理施設の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボード）の破碎
設置年月日	平成12年6月20日
設置場所	七尾市佐味町イ部42番3
廃棄物の種類	「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」（廃石膏ボード）
処理能力	4. 8t/日（8時間稼動）
処理方式	破碎方式
構造・設備の概要	破碎機 1基 14kw 集塵機 1基 磁選機 1基
環境保全設備の概要	施設は建屋内に設置する。 また、集塵装置の装備により粉じん騒音、振動の影響は周辺におよびません。

処理施設の種類	破碎施設
設置年月日	平成24年2月2日
設置場所	七尾市佐味町イ部42番3,14,15,16
廃棄物の種類	木くず
処理能力	ロストルスクリーンサイズ 50.5mm×50mm:62.1t/h(9時間) ロストルスクリーンサイズ 58mm×65mm:75.6t/h(9時間) ロストルスクリーンサイズ 63mm×74mm:90.0t/h(9時間) ロストルスクリーンサイズ 67mm×76mm:93.6t/h(9時間) ロストルスクリーンサイズ 73mm×79mm:98.1t/h(9時間)
処理方式	破碎(投入→破碎機→コンベヤ→磁選機→コンベヤ→巡回スクリーン→保管) ※50m以上はオーバコンベヤより破碎機へリターン
構造・設備の概要	設備 ベルトコンベヤB=0.35m~1.4m(1.0~2.2kw) 巡回スクリーン(3.7kw) 磁選機コンベヤ(0.75kw) 投入コンベヤ(5.5kw)
環境保全設備の概要	破碎施設は建屋内に設置し、飛散・流出防止に努め、建屋内をコンクリート土間(t=20cm)とし、飛散・流出防止及び騒音・振動に対する生活環境保全に万全を尽くし、散水装置等を設け、粉じんの発生防止に努める。

## ② 積替保管施設

積替え保管施設			
会社名	西日本資源再開発(株)	施設所在地	七尾市佐味町イ部42番16
許可品目	廃プラスチック類※、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず※ 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」※、がれき類(石綿含有産業廃棄物除く。)		
保管上限	46.8 m <sup>3</sup>	保管場所の面積	28.5 m <sup>2</sup>
	107.6 m <sup>3</sup>		118.4 m <sup>2</sup>
積替え保管施設			
会社名	西日本資源再開発(株)	施設所在地	七尾市佐味町イ部42番3、15
許可品目	廃プラスチック類※、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず※ 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」※、がれき類(石綿含有産業廃棄物含む。)		
保管上限	43.5 m <sup>3</sup>	保管場所の面積	40.0 m <sup>2</sup>
	54.3 m <sup>3</sup>		49.0 m <sup>2</sup>

※自動車等破砕物であるものを除く

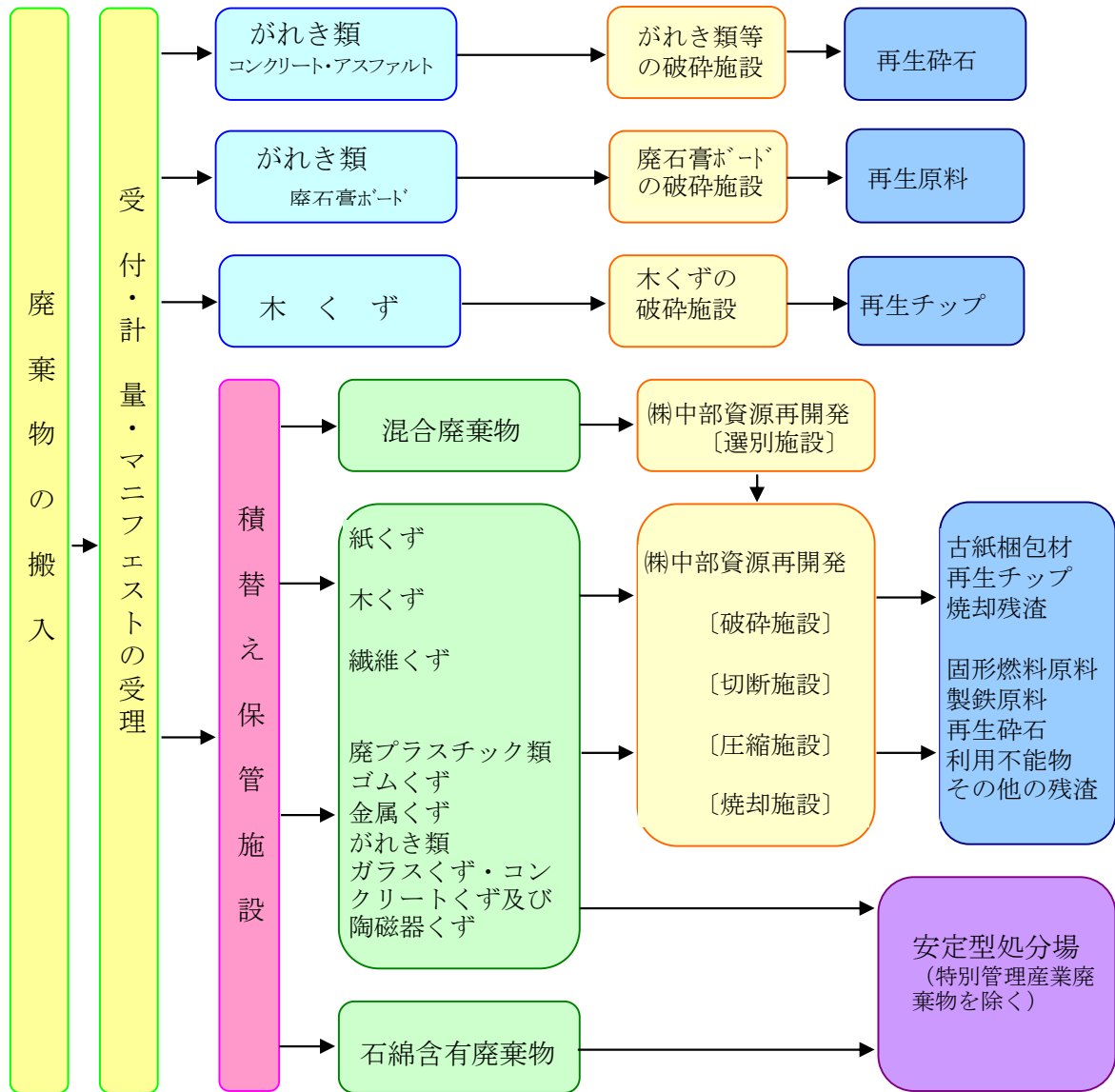
## ③ 保有車両及び重機

〈車両〉 10 t ダンプ 1台

寸法	784×249×312
登録番号	石川 11 き 8163
最大積載量	8900kg

〈重機〉 パワーショベル 1台

④ 産業廃棄物処理フロー図



## 5. 産業廃棄物・一般廃棄物処理実績

〔産業廃棄物〕

令和6年2月～令和7年1月

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
収集運搬	木くず		0
	金属くず		30.18
	廃プラスチック類		101.58
	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず(石膏ボード)		24.14
	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず		39.63
	がれき類		571.27
	がれき類(瓦くず)		487.55
	混合廃棄物		316.02
	繊維くず		21.67
	紙くず		0.65
	がれき類(石綿含有産業廃棄物)		10.53
	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)		2.91
	金属類(石綿含有産業廃棄物)		0.00
収集運搬合計			1606.13
中間処理	がれき類		14246.37
	木くず		748.88
うち 再資源化等 自社処理	がれき類		14246.37
	木くず		748.88
再資源化等量小計			14995.25
中間処理合計			14995.25
最終処分	がれき類	安定型埋立	0
	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型埋立	0
	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	安定型埋立	10.53
	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)	安定型埋立	2.91
	金属類(石綿含有産業廃棄物)	安定型埋立	0
最終処分合計			13.44

〔一般廃棄物〕

令和6年2月～令和7年1月

令和6年度	中間処理量	木くず	0.08 t
		コンクリートくず	57.09 t
		廃石膏ボード	0.84 t

## 6. 環境経営目標と実績・評価

### (1). 実績

	単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	95,736	83,400	74,396	65,764	53,443	68,584
電気	kWh	118,164	101,520	92,240	79,250	61,503	57,938
	kWh/t(受入量)	6.56	5.53	8.86	4.74	5.17	3.86
軽油	ℓ	7,348	6,007	5,704	5,616	5,028	15,377
	ℓ/t(収集運搬量)	5.19	5.82	4.36	4.77	5.56	9.57
水使用量	m <sup>3</sup>	1,115	993	753	775	414	628
リサイクル率	%	99.50%	99.58%	99.70%	99.80%	99.65%	100.00%
産業廃棄物受入量	t	18,018	18,356	10,413	16,714	11,906	14,995
産業廃棄物収集運搬量	t	1,415	1,031	1,308	1,177	905	1,606

### (2). 中期の目標

	単位	基準値	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
		R3年度	目標	目標	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	74,396	72,187	71,465	70,750	70,043	69,343
電気	kWh	92,240	89,500	88,605	87,719	86,842	85,973
	kWh/t(受入量)	8.86	8.59	8.50	8.42	8.33	8.25
軽油	ℓ	5,704	5,534	5,479	5,424	5,370	5,316
	ℓ/t(収集運搬量)	4.36	4.23	4.19	4.15	4.10	4.06
水使用量	m <sup>3</sup>	753	731	724	716	709	702
リサイクル率	%	99.70%	100	100	100	100	100
産業廃棄物受入量	t	10,413	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
産業廃棄物収集運搬量	t	1,308	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400

※電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力のR4年度調整後排出係数 0.499kg-CO<sub>2</sub>/kWh

- ☆ 二酸化炭素排出量は、令和3年度を実績を基準にし毎年1%減とします。
- ☆ 電力使用量は令和3年度の実績及び受入量 1tあたりの原単位を基準として毎年1%減とします。
- ☆ 軽油使用量は令和3年度の実績及び収集運搬量 1tあたりの原単位を基準として毎年1%減とします。
- ☆ リサイクル率は、基準値を維持します。(産業廃棄物の受入量と再資源化等量の比率)
- ☆ 産業廃棄物受入量・産業廃棄物収集運搬量については、過去3年間の実績を参考にして  
産業廃棄物受入量は15,000 t 以上、産業廃棄物収集運搬量は1,400 t 以上を目標とする。

(3) . 令和6年度の目標と実績

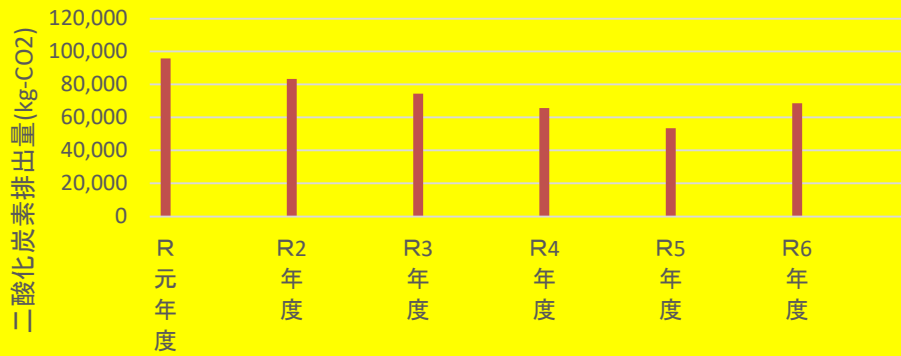
	単位	R 6 年度	R 6 年度	達成率 実績/目標	評 価
		目標	実績		
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	72,187	68,584	0.95	○
電気	kWh	89,500	57,938		
	kWh/t(受入量)	8.59	3.86	0.45	○
軽油	ℓ	5,534	15,377		
	ℓ/t(収集運搬量)	4.23	9.57	2.26	×
水使用量	m <sup>3</sup>	731	628	0.86	○
リサイクル率	%	100	100	1.00	○
産業廃棄物受入量	t	15,000	14,995	1.00	-
産業廃棄物収集運搬量	t	1,400	1,606	1.15	-

※電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力のR4年度調整後排出係数 0.499kg-CO<sub>2</sub>/kWh

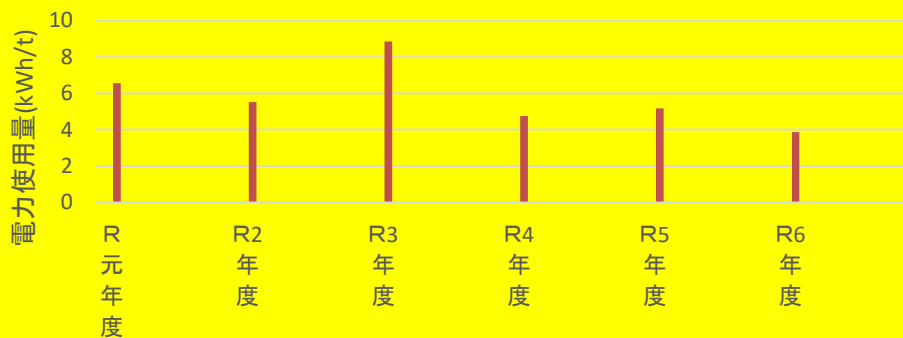
○→達成 △→10%未満達成 ×→10%以上未達成

- ☆ 二酸化炭素排出量については、去年より減少し目標達成できました。
- ☆ 電気については、破砕機等の稼働の効率化に努め、目標を達成することができました。今後もこの取り組みを継続します。
- ☆ 軽油については、収集運搬量が増加しましたが、収集量1 tあたりの軽油使用量も増加し目標達成することができませんでした。今後は運搬ルートの見直しを短縮化を見直して削減に努めます。
- ☆ 水使用量は、事務所・場内での節水、洗車時の節水を心掛け、目標を達成することができました。引き続き目標を達成できるよう心掛けます。
- ☆ リサイクル率は、目標を達成できました。今後も100%になるよう取り組みを進めます。
- ☆ 産業廃棄物受入量は去年より増加し、目標達成することができました。
- ☆ 産業廃棄物収集運搬量も去年より増加し、目標達成することができました。

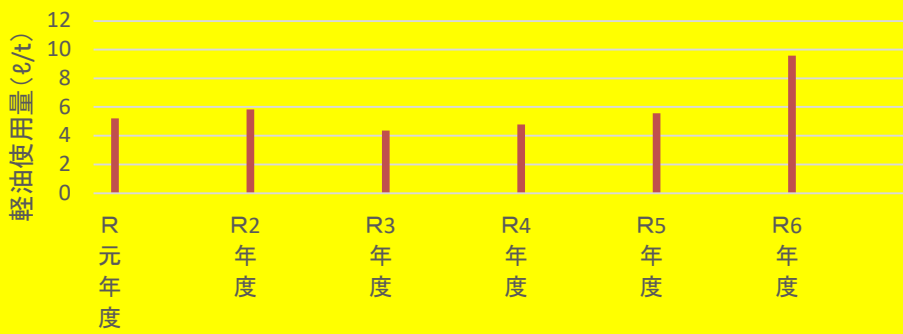
### 二酸化炭素排出量の推移



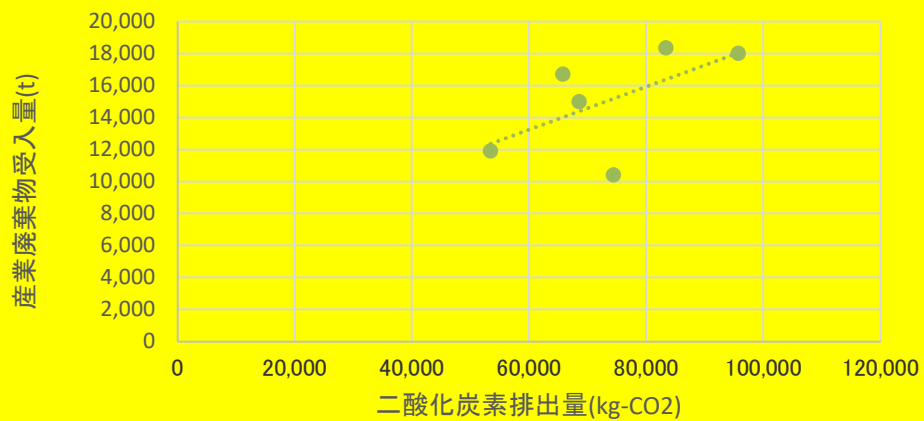
### 受入量1あたりの電力使用量(kWh/t)



### 収集運搬量1tあたりの軽油使用量(ℓ/t)



### 二酸化炭素排出量と産業廃棄物受入量の関係





## 7. 環境経営計画と取組評価

### R 6 年度の取組結果

環境経営目標	活 動 内 容	評価
二酸化炭素排出量	工場内の作業、重機作業等の効率アップ	○
	事務所内不在時の消灯	○
	冷暖房の適温化の徹底（夏季 27℃/冬季 23℃）	○
	使捨て製品ではなく、詰替え製品の利用	○
	リサイクル分別BOXの配置等による、分別の推進	○
	アイドリングストップ等によるエコ運転	○
	運搬ルートの短縮化	○
水の効率的利用	バルブの調節により水量及び水圧の節水を図る	○
	多洗い時、洗物等において、日常的節水	○
グリーン購入	エコ・グリーンマーク製品の優先購入	△
	事務所内のコピー用紙等をエコ製品へ優先購入	○
リサイクル率のアップ	産業廃棄物の処分量増加に伴うリサイクル率の	○
	アップを目標とする	
環境コミュニケーション	工場前の側溝等の清掃	○
	地域のゴミ清掃等への参加	○

次年度においても、昨年度の活動内容を継続します。

特に、工場内の作業、重機作業等の効率アップは最重要課題として取り組みます。

## 8. 環境関連法規等の順守

適用法規名	順守事項	遵守内容	チェック	確認日	確認者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	処分業者として	1. 処分業許可証の許可事項の順守	○	1/20	北野
		2. 排出事業者との委託契約の締結	○	1/20	北野
		3. 産業廃棄物の飛散・流出・浸透・悪臭等の防止対策	○	1/20	北野
		4. 安定型最終処分場において、それ以外の産廃の混入・付着の防止措置	○	1/20	北野
		5. 施設における掲示板の設置	○	1/20	北野
		6. 最終処分場における浸透水の水質検査	○	1/20	北野
		7. マニフェストの管理（交付・返却・報告等）	○	1/20	北野
		8. マニフェストの記録・保管（保存期間・交付状況報告等）	○	1/20	北野
	収集運搬業者として	1. 収集運搬業許可証の許可事項の順守	○	1/20	北野
		2. 排出事業者との委託契約の締結	○	1/20	北野
3. 収集運搬において飛散・流出・悪臭・騒音・振動の防止対策		○	1/20	北野	
4. 収集運搬車両への許可番号等の表示および許可証の携帯		○	1/20	北野	
5. マニフェストの管理		○	1/20	北野	
騒音規制法	騒音発生施設の騒音対策	1. 中間処理施設の設置届出 2. 騒音規制基準の順守	○	1/20	北野
振動規制法	振動発生施設の振動対策	1. 中間処理施設の設置届出 2. 振動規制基準の順守	○	1/20	北野
フロン排出抑制法	エアコンからのフロン排出の抑制	1. 簡易点検の実施、記録保管	○	1/20	北野
浄化槽法	浄化槽の維持管理	1. 定期メンテナンス 2. 1回/年の清掃、水質検査	○	1/20	北野
道路運送車両法	業務用車両の維持管理	1. 定期メンテナンス（車検） 2. 運送管理（走行距離）	○	1/20	北野

## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟等は有りませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去には有りませんでした。

また、関連法規等は常に最新のものとする様、定期的に見直し、順守状況を確認します。

## 10. 代表者による全体の評価と見直し

代表者は、エコアクション21全体の見直しに必要な情報と環境管理責任者よりの報告を基に、年に1回見直しを実施します。

1. 実施日 : 令和7年1月20日 (16:00~17:00)
2. 場所 : リサイクルセンター事務所
3. 出席者 : 社長、環境管理責任者、工場長、環境管理担当者
4. 資料 : 環境活動レポート
5. 代表者の評価と見直し : 今年度は例年とは違い、R6能登半島地震後ということもあり、産業廃棄物受入量、収集運搬量どちらも増加した。今年度も最大の環境目標であるリサイクル率、そして二酸化炭素排出量は目標達成となった。引き続き強く意識して行ってほしい。  
電気については、破碎機稼働の効率化に努め目標達成となったが、軽油使用量は増加した。今一度、運搬ルートの再確認をし、削減に努めエコ運転心掛けてほしい。  
水使用量については去年よりも減少することができた。引き続き節水を意識し、作業を行ってほしい。  
未だに各地で災害復旧工事がたくさん行われており、全国の方々にご支援いただき復興を目指している。次年度も社員一人一人目標を高く持ち、安全第一で日々の業務に取り組んでほしい。